

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和7年度 東中だより 第4号	発行日	令和7年6月9日
教育目標	多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【学校行事】

今年度、3年生は5月21～23日に九州長崎方面に修学旅行に行きました。2年生は5月19～23日の5日間、74カ所の事業所の方々にお世話になり、トライやる・ウィークを実施しました。1年生は6月3～5日に鉢伏高原に林間学舎に行きました。どの学年もしっかりと取り組み、何より、子どもたちがとても楽しんで参加していたと聞いています。私は修学旅行に引率しました。修学旅行では、200名を超える子どもたちが、迅速かつ厳粛に行動することができ、すべての行程が予定どおり、無事に実施することができました。

これは1日、2日でできることではありません。これまで多くの学校を添乗されたベテランの添乗員もこのような生徒さんたちを見たことがないと言って高く賞賛していただきました。また、様々な場所において、子どもたちは主体的に考えて動くことができていました。



一方、私は出発式で、①日頃の学習の成果を発揮できるよう「修学旅行の目標」を達成してもらいたい、②今年は、昭和100年、戦後80年の年であり、平和な日本にいることに感謝し、修学旅行をおもいきり楽しんでもらいたい、③怪我なく、元気に伊丹に帰ってこようと話をしました。修学旅行では、多くの子どもたちと楽しくおしゃべりすることができました。校長でいられるのは、子どもたちのお陰であり、教師冥利に尽きると改めて感じさせていただきました。解散式では、子どもたちに心から「ありがとう」と述べるすることができました。

修学旅行などの学校行事は、ゲームやスマホから離れたリアルな体験です。AI社会がさらに進化して行くことを考えると、身体の諸感覚を通して行う活動はこれまで以上にその必要性が生じてきます。また、これからの社会を生きる子どもたちにとって、将来への種まきになっていると感じます。

【梅雨時期】

最近「朝起きるのがつらそう」「食欲がない」「いつも疲れている」「自分を責める発言が増えた」などの表情がありませんか。子どもたちにとっ

ても大きな行事が終え、4月から頑張ってきたことや、張り詰めていた気持ちから疲れが見られる頃ではないでしょうか。また、梅雨の時期は、雲が低く垂れ込め、雨の日が多くなり気持ちが沈みやすく、憂鬱になりがちです。家では、洗濯物が乾かず外出するときは傘の用意をしなければいけません。しかし、雨に咲いた紫陽花を見ると心が癒やされます。



また、学校生活に慣れ始めたこの時期は、SNSなどを使ったトラブルが多く発生する時期でもあります。そのため、情報を発信する場合は「これを見て嫌な思いをする人はいないか」「自分に危険が及ぶことがないか」などを考える習慣を身につけてもらいたいと思います。

もし、子どもたちが落ち込んでいた場合などは、私たちにできることは、どんな状況であっても笑顔で「あなたはきっと大丈夫だよ」と言ってあげ、心の声を聞いてあげることではないでしょうか。何かが起こったときにはしっかりと手を差し伸べ、「辛かったね」「一緒に何ができるか考えよう」と言えば、子どもの表情は見違えるようにきっと明るくなるはずです。心の浮き沈みは、いつでも誰でも起こりうるものです。そういった時は、赤ちゃんが初めて自分の足で立ったり、小さな子どもが初めて自転車に乗れるようになったりした時のように、これからも「大丈夫だよ」と言い続けてあげたいですね。

【特殊詐欺講演会への参加依頼】

13～25歳の若者に行った闇バイトに関するアンケート調査において、「お金に困ったら、闇バイトをするかもしれないと思う」という回答が26.0%に上るという驚きの結果が出ていました。さらに、「どこにも相談しない」「相談先がわからない・判断できない」という声も多数でした。

一方、2024年の県内の特殊詐欺の状況は、未然防止事案が2,322件で全国2位、被害に至った事案は1,445件、被害額は31億9000万円と過去最悪を更新していました。決して対岸の火事ではないと思います。是非、本講演会にご参加いただきますようお願いいたします。

<QRコード>

(なお、QRコードでお申込みいただければ幸いです。お申込みがない場合でも参加は可能です。)

○日 時： 令和7年6月24日(火) 14:00～15:00

○場 所： 伊丹市立東中学校体育館 ○対 象： 保護者、地域住民等

